

登録No. S-027
 登録名 weekly Trastuzumab療法
 催吐性リスク 最小度
 適応疾患 HER2過剰発現転移性乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	トラスツズマブ	初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg		d1	d.i.v.	初回90minで忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	添付注射用水で溶解添付生食250mLで希釈

1クルールの期間 1週間
 その他（副作用・PS規定等）

原則禁忌：重篤な心障害のある患者
 infusion reactionがみられた際は投与中止。
 （再開時期について特に規定はないが臨床症状をよくみて症状が軽度なら継続投与可能。）
 前投薬は必要なし。
 infusion reactionは解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO₂投与、ステロイド。
 心機能障害ある際は慎重投与。